

## 第 1 回 神戸市立中学校標準服のあり方に関する検討会（議事要旨）

## ○標準服の必要性、果たしている役割について

- ・（生徒指導や経済的格差などの観点から）標準服はあった方がよいと考える。
- ・アメリカでは通常は私服での登校であるが、試合などでは学校のロゴをプリントしたTシャツを着て、愛校心の醸成や団結を図ることがあるようである。
- ・昔は変形させた詰襟型標準服を着る生徒がたくさんいた。ブレザー型標準服には変形がしにくいという特性がある。

## ○標準服に求められる機能について

- ・標準服の素材としては、乾きやすいものやシワになりにくいもの、家庭で洗濯しやすいものが多くなってきている。
- ・ブレザー型標準服のほうが脱ぎ着しやすく、体調にあわせて調整がしやすい。

## ○標準服の価格について

- ・市民からの意見で標準服の価格が高いといった声があるが、他都市の制服価格等と比較したうえで意見なのだろうか。
- ・標準服に限った話ではないが、学校の規模によって値段の差が大きい。
- ・標準服の価格がどこまでも安くなることはあり得ない。コンペや見積り合わせを行って業者決定の過程を可視化できるようにすれば、保護者も納得するのではないか。

## ○性的マイノリティへの対応について

- ・LGBTQ当事者対象の調査結果（15,064人）では、小中高でのいじめ被害率は58%、不登校率は21%であり、10代の「L/G」では30%前後、「T」では60%弱が不登校を経験している。自傷行為は10代の「L/T」で50%弱、「G」で16.9%と示され、首都圏の男子中高生の7.5%に対して、数倍高率であるという結果がでている。
- ・こどもの命を守るためには、いじめ・不登校への適切な対応に加え、標準服についてもスラックス・スカート・ネクタイ・リボンいずれの組み合わせも可能とする選択制の導入が望ましい。
- ・ボタン合わせは通常、男女で異なるが、ポロシャツのボタン合わせを統一しようという動きもある。

## ○女子スラックスについて

- ・先進的な学校では、女子がスラックスを履くことを認めるのはすでに当たり前の話。
- ・女子スラックスを導入しても、スラックスを履くことで性別違和をもっていることが明らかになる可能性があるため、結果として学校で1～2人程度しか履かないという事例もある。また、スラックス導入の理由として「防寒対策」を加えることも重要である。
- ・スカートのみのある学校では、スカートの下に体操服を履いている生徒がいる。盗撮や痴漢防止に履いている面もあるようだが、夏などは男子より女子スカートの方が暑いようである。

## ○その他

- ・保護者負担の軽減を図るためには統一した標準服を作ることも考えられるが、全ての保護者に意見を聞くなどしていたら相当な時間がかかるため、現実的には厳しい面があるように思う。